

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王南小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語・算数ともに平均正答率は全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。
- ・国語の「書くこと」は全国平均を大きく上回っており、また「読むこと」でも、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることがよくできています。一方で、文の中で正しく漢字を使ったり、文章の種類とその特徴について理解したりすることに課題がみられます。
- ・算数では、図形を構成する要素に着目して形を判断したり、「変化と関係」の領域の百分率による割合の表し方を理解したりすることがよくできています。「数と計算」では、示された場面を解釈し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述することに課題がみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「毎日同じくらいの時刻に寝ている、起きている」「自分にはよいところがある」「人が困っているときは進んで助けている」「読書は好き」について、肯定的な回答の割合が高くなっています。
- ・課題となる項目
「家で自分で計画を立てて勉強をしている」とした児童の割合が低くなっています。
「朝食は毎日食べている」と答えた児童の割合は低くなっており、「あまり食べない」「全く食べない」と答えた児童の割合が全国平均よりも高くなっています。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・授業の中で、児童が自ら考え、まとめ、表現する場面を計画的に設定し、思考力・判断力・表現力をさらに伸ばしていきます。また、対話を通して多様な表現を認め合いながら、自己の考えを広げ、深められるような学びにつなげていきます。
- ・児童が個々のペースで「やる気こん気ドリル」に取り組むことを通して、粘り強く課題に取り組む姿勢と基礎基本の定着を図っていきます。
- ・家庭学習強化週間での取り組みをいかながら、計画を立てて学習したり、家庭学習の振り返りをしたりして、継続して家庭学習する習慣を身に付けられるようにします。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を活用しながら、『学年×10分+10分』の家庭での学習時間が定着するように、ご家庭でもお子さんの頑張りを認め、励ましの声をかけてあげてください。
- ・朝食摂取や十分な睡眠など、お子さんの一日の生活を見直し、望ましい生活習慣の定着に向けて、お子さんと「我が家のルール」について話し合う機会をもってください。
- ・読み聞かせや親子読書をしたり、音読をきいてあげたりして、読書に親しむ機会を増やしてあげてください。